

第1回諏訪市総合計画審議会 会議録

○ 日 時

令和3年6月3日（木）午後1時～2時48分

○ 会 場

諏訪市役所 5階 大会議室

○ 出席者

< 諏訪市総合計画審議会委員 >

宮下和昭委員、矢島加奈委員、小島郷史委員、小池玲子委員、小林佐敏委員、
佐藤よし江委員、春間光也委員、佐久秀幸委員、岩波寿亮委員、飯田政信委員、
藤森洋子委員、遠藤恵美子委員、牛山久仁彦委員、山岸絵美理委員、有賀修二委員、
岡勇樹委員、島津美穂子委員

< 第六次諏訪市総合計画策定部会委員 >

後藤副市長、前田企画部長、金子市民環境部長、守屋健康福祉部長、中島経済部長、
樫尾建設部長、茅野水道局長、細野教育次長

< 事務局 >

寺島企画政策課長、下澤企画政策係長、茅野企画政策係主査、前田企画政策係主査

○ 会議概要

- ・ 市長より委員に対し委嘱状を交付。会長及び副会長を選任。
- ・ 第六次諏訪市総合計画基本構想及び基本計画について諮問。
- ・ 第六次諏訪市総合計画概要及び基本構想について協議を実施した。

○ 会議録

1 開会

（前田企画部長）

- ・ 第1回諏訪市総合計画審議会を開催する。
- ・ 委嘱前ではありますが、本日委員総数17名全員の委員に出席いただいている。

2 市長挨拶

（前田企画部長）

- ・ 諏訪市長金子よりご挨拶申し上げます。

（金子市長）

- ・ 皆さんこんにちは。暦も6月に入りましたが、感染症の状況は、まだ安心できる状況になっていない。長野県も医療関係の状況が改善せず、警戒レベルの4は維持されており、医療警戒体制も解除されていない状況であるが、本日の第1回諏訪市総合計画審議会の開催にあたり、ご遠方よりお越しいただいた方を含め、ご参集をいただきましたこと心から感謝申し上げます。

- ・総合計画、諏訪市の重要な中核となる大事な計画を審議いただく委員をお願い申し上げましたところ、快くお引き受けをいただきましたこと重ねて感謝申し上げます。
- ・現在は第五次諏訪市総合計画後期基本計画の計画期間中だが、今年度で計画期間が終了する。令和4年度からは、第六次諏訪市総合計画を基に事業を遂行していく。昨年、条例でこの計画が最上位計画であると規定してから初めて策定する総合計画となる。
- ・諏訪市では主な事業、絞っても600事業くらいが同時並行で進められている。あらゆる分野、福祉、教育、環境、経済、全ての分野にわたる総合計画ということになる。それぞれの分野で知見をお持ちの皆さん、相対的に学术界から見ていただける委員の皆さん、それぞれにご参集いただいている。しっかりとご議論いただきご教授をいただきながら、効果的で実行に結びつく、有効な計画策定を期待している。
- ・忌憚のないご意見をいただき、ご協力賜りますようお願い申し上げまして、最初のご挨拶といたします。どうぞよろしく願います。

3 委員委嘱

(前田企画部長)

- ・諏訪市長金子より委嘱状を交付させていただく。

(金子諏訪市長)

(※各委員に委嘱状を交付)

(前田企画部長)

- ・委嘱された委員の皆様から、簡単に自己紹介をいただきたく存じます。

(※各委員自己紹介後、副市長及び事務局自己紹介)

4 会長副会長選出

(前田企画部長)

- ・会長副会長の選出について、事務局より説明をする。

(茅野企画政策係主査)

- ・諏訪市総合計画条例施行規則に、諏訪市総合計画審議会に会長及び副会長各1人を置き、審議会の委員の互選により選出するとある。事務局に腹案があるが発表してもよろしいでしょうか。
- ・会長を諏訪商工会議所会頭の岩波様、副会長を諏訪市社会教育委員会議長の小池様をお願いしたい。

(前田企画部長)

- ・事務局から腹案について説明をさせていただいた。事務局腹案について賛同いただける方は拍手をお願いいたします。

(※拍手多数)

- ・ありがとうございます。それでは会長を岩波様、副会長を小池様をお願いしたいと存じます。席のご移動をお願いいたします。

5 諮問

(前田企画部長)

- ・第六次諏訪市総合計画につきまして、諏訪市長金子より諮問をいたします。

(金子諏訪市長)

(※金子諏訪市長から、審議会を代表し岩波会長及び小池副会長に対して諮問)

- ・ありがとうございました。ご着席ください。
- ・市長は公務のため、ここで退席をさせていただきます。

(※金子諏訪市長退席)

- ・以降の進行は会長であります岩波様、よろしくお願ひいたします。

6 協議事項

(1) 第六次諏訪市総合計画概要について

(岩波会長)

- ・会長を仰せつかりました岩波です。進行を務めさせていただきます。
- ・協議事項 (1) 第六次諏訪市総合計画概要について、事務局から説明をお願いします。

(下澤企画政策係長)

※資料1を基とした投影資料を用いて説明

(岩波会長)

- ・説明に対しての質疑となります。ご意見ご質問あればお願いします。

(A委員)

- ・SDGsとの関連を意識していくということだが、諏訪市の総合計画としては、SDGsの精神を意識していけばいいのか、それとも諏訪市としてある程度将来の数値目標があってそれを5年計画で、目指していくのか、教えていただきたい。

(茅野企画政策係主査)

- ・SDGsについての数値目標を設定する予定はない。第2回審議会以降で説明する個別の分野における基本方針、その中の施策方針がどんなSDGsのゴールに関連性があるのかというものを考えながら作っていく。委員がおっしゃったように、考え方をこの計画の中に入れていくという考えである。

(B委員)

- ・この次の資料2にも関係しているが、全体像を作るときに、将来像であり目指すべき姿、あるべき姿の「魅力の架け橋 高原湖畔都市」があり、その下に重点目標があって、その下に基本方針という分野別の方針がある。普通は上位の概念を実現するために、一次目標を展開して重点目標が出てきて、その重点目標を達成するために個別分野の基本方針が決まっていくという流れだと思う。下から基本方針ができ上がっていて、それに重点目標を取ってつけて、最後に概念を被せたと受けとれかねないような感じがした。資料で示している矢印の向きが逆じゃないかというのが私の意見ではあるが、策定される段階でどのように作業をされたのかということをお聞きしたい。

(寺島企画政策課長)

- ・この後、資料2で説明させていただく予定であるが、この図の表記について、考え方とし

ては、将来の目標があり、それに向かってどう進んでいくかという整理をしている。

(B委員)

- ・表現で誤解されてはいけないので、資料もわかるように変えていただいたほうが、これから様々な場所で開示していくときによいのではないかと思う。

(C委員)

- ・内閣府とか厚労省とか、いろんな委員会に参加してきたが、毎回、最初に確認したいことがある。何が委員としての役割なのかを知りたい。最近参加したとある会議は、厚労省関係で介護予防に関する取組のマニュアルのようなものを作るという目的のある委員会。基本方針と基本的な内容は既に調査し決まっていて、それに対して修正し、追加意見を出す、反映すべき点があれば反映して、それを発行するという役割を担っていた。この総合計画審議会の、委員の具体的な役割をお聞きできればと思う。それによって資料を読み込む、真面目度合いが変わってくるなど思っているの、どんな役割かだけ教えてください。

(寺島企画政策課長)

- ・いろんな分野の皆さんから委員として、審議会の委員として参画いただいている。それぞれ活動もあると思うが、そういう中で、一つの方向に向かって気持ちを一つにしていくという整理ができればいいかなと思っている。この後説明させていただく、将来像等に対して、それぞれの立場から、ご意見をいただければと考えている。

(D委員)

- ・市議会との関わりについて。自治体によっては、審議会に議員が入ったり入らなかったりいろいろだと思うが、市議会は住民を代表する大事な機関。市議会とどのような日程で意見交換されるのか、予定等ありましたら教えていただきたい。

(前田企画部長)

- ・既に5月の全員協議会で、将来像と策定の経過は報告をしている。また、6月の議会の際にも、この審議会の内容のまとめを報告し意見をいただくという考えです。
- ・その後、第2回審議会の結果を踏まえて、パブリックコメントを提出する内容と同じものを9月議会に提出し議会に説明、パブリックコメントの参加も促していく。最終的にパブリックコメントと議会の意見を反映し、第3回そして第4回審議会を経て、12月議会に議案として提出して議決いただく。この流れで考えている。

(D委員)

- ・我々審議会と議会が直接対面することはないという考えで良いでしょうか。

(前田企画部長)

- ・そのとおりです。

(E委員)

- ・既に全てが決まっていますとならず、多少フレキシブルに、委員から要望があったら動いていけるよう、スケジュールも多少の余裕を持って考えていただきたい。

(2) 第六次諏訪市総合計画基本構想について

(岩波会長)

- ・協議事項 (2) 第六次諏訪市総合計画基本構想について、事務局から説明をお願いします。

(寺島企画政策課長)

※資料2を基とした投影資料を用いて将来像までを説明

(岩波会長)

- ・将来像まで説明がありましたが、ご意見ご質問あればお願いします。
- ・この後の説明も関連してくると思うので、続いて後半の説明をお願いします。

(茅野企画政策係主査)

※資料2を基とした投影資料を用いて実現すべき重点目標以降を説明

(岩波会長)

- ・多くの方から意見をいただいて、この将来像も決まってきたことがわかった。
- ・ここまでの内容でご意見ご質問等あればお願いします。

(B委員)

- ・重点目標について、成果を計るためにK P Iを設定しなくてはいけない。このテーマで、具体的にどんなK P Iを設定できるか。成果がわかるようにしていただきたい。
- ・例えばだが、人と投資を呼び込むという重点目標があり、その下に基本方針、個別事業となると思う。個別事業がどの重点目標につながっているかという表があればいいと思う。市民の皆さんが見たときに、これは防災のためにやっている工事で、心地いいまちづくりにつながっているということ、直感的にわかるような表が出てくると、非常に理解しやすいと思う。
- ・福祉、インフラ等いくつかの個別事業が、いろんなところにつながっているという見方ができると思う。そういうところまで提示していただけると大変ありがたい。

(茅野企画政策係主査)

- ・重点目標に対する指標は設定する予定。充実したしごと創出を例に出すと、どのように稼げるまちの指標を表していくのかを考えなくてはいけない。毎年指標が取れる数値でないと、経過を追っていけないが、例として市内事業所課税標準額の平均がある。これにより生産性が上がった、稼げるようになったかというところが表せるのではといったように検討している。しっかり効果が図れる目標設定をしていきたいと思っている。
- ・事業の関連について、誰が見てもわかりやすい計画とする必要があると我々も思っている。見せ方における工夫をしていきたい。

(E委員)

- ・K P Iは重点目標のほうに設定されるのか。

(茅野企画政策係主査)

- ・個別の基本方針にもK P Iは設定される。重点目標には重点指標といった数値目標を設定していきたい。

(D委員)

- ・実現すべき重点目標のK P Iについて、地方創生総合戦略を見てみると、基本方針のところで出てくる事業についてのK P Iはかなり具体的な数値目標を立てていけるので確実に評価していける。しかし、他の自治体も含めてだが、この重点目標という位置づけのものになってくると、目標を立てにくく抽象的になりやすい。市民アンケート等の満足度というような評価になってしまう。どういう成果が出ているのかということを図るためには、

苦労されると思うが、K P Iをしっかり立てていくことが必要になる。

- 政策体系の矢印の方向表記について、やはり普通は一番高いところにある目標に向けて何するかを考えていくものである。一方で、この矢印表現もいいなと思った。EUが、リーダープログラムというもので、地域支援をしている。そのスローガンが、ボトムアップとネットワークである。行政計画なので、各部署がやることというイメージがあるのは当然だが、市民防災というような観点では、市民の皆さんも危機管理等に関わっていく。どの分野でも、この市民との協働というネットワーク、そういったボトムアップの動きが出てきて、重点目標のところをつなげていき、最終的な将来像につなげていくというふうなニュアンスも出てくるのかなと。実際には基本方針のところ、いろんな事業が出てくる。計画論で言うと、それが重点目標から全部ぶら下がってくる。重点目標には複数のものに関わる事業も多く出てくると思うので、関係表は作っていただけると思う。将来像から、ちゃんと目標に向かって立てられているという図示もあれば、ボトムアップでネットワークしていくというような表もある。さらにSDG sの問題も、SDG sの何にこの事業は関わっているのかということマークで表記できると思う。

(C委員)

- 高原湖畔都市をG o o g l eで検索すると、本当に諏訪が出てくるのですね。一番上に白樺湖蓼科高原が出てきて、3番目に諏訪市の市役所のホームページが出てくる。めちゃくちゃすごい言葉を発掘したなと思った。ブランディングする場合、普通はこういう言葉を作って、S E O対策、G o o g l eでの検索結果の上に持ってくるためにわざわざお金かけるが、最初からこういうピンポイントで使える言葉を、発掘して使っていることは素晴らしいと思った。商標登録等も結構大事だと思う。行政が商標登録できるのかどうかかわからないが、諏訪市というブランドを大事に考えたときに、商標登録とかしてもいいのではないかというくらい、いい言葉だと思った。
- 政策体系の矢印表記について。法人を作る時、ビジョンとミッションとコースみたいなものをもとに考えると思う。将来像がビジョンだとすると、ミッションとコースがない。ビジョンは理念や理想で、ミッションというのは使命。コースが解決すべき点だと思うが、コースの部分がわからない。コースというのは原因、要因といった意味。解決したい内容が何か、もう少し理解したい。課題を解決するためのミッションというのが出てくると思う。今回の計画では、それをまとめて表現していると思うが、どうしても目標と理念だけだと理想になってしまいがち。リアルな数や文字をインプットしたいと思った。
- 人と投資を呼び込む、まちづくり、ライフステージの話、SDG sもだが、日本の中の事例だけではなく、国外のいろんな事例も取り入れながら考えられたらいい。
- 行革機動隊、とても面白いと思う。よくこんな言葉を考えたなと思って驚愕している。

(茅野企画政策係主査)

- 第2回審議会開催前に皆さんに基本計画部分をお送りする。その中でそれぞれの分析等をしているので、確認いただければと思う。
- 実現すべき重点目標にもあるが、つながりという意味に関連し、昨日、諏訪実業高校でSDG sの体験事業を一緒に受けてきた。生徒が、横のつながりをつくり協力しないとまちづくりも難しいということSDG sの中から学んで実感していた。

- ・この計画、みんなで地方創生とあるが、縦割りではなく、庁内でも、また市民ともしっかりタッグを組んで進めていく、そんな計画になればと思い策定している。
- ・行革機動隊については、企画政策課スマート化推進係における行政事務のスマート化プロジェクト。また、新聞等でご覧いただきたい。

(E委員)

- ・市民満足度調査の結果はホームページに掲載されているのか。

(茅野企画政策係主査)

- ・現在今年度の調査結果は掲載前だが、昨年度分は掲載されている。

(E委員)

- ・今回のパワーポイント資料は全部事務局で作ったのか。委託はしているのか。

(茅野企画政策係主査)

- ・資料は全て事務局で作成している。計画策定について委託は一切していない。自らが課題に気づき作っていくという体制。実際にやってみたからこそ気付いた点もあった。自らの計画として作り上げることができているのではと実感している。

(E委員)

- ・素晴らしいことだと思う。

(F委員)

- ・私は市民職員ワークショップにも参加させていただいた。私も15年あまり諏訪市でいろいろなボランティア活動をしてきたが、職員の皆さんと感じたことが一緒だと思った点が、情報が必要な人に行き届いてないとか、行政のやっていることを市民が知らなかったり、市民同士の情報共有がないという点である。情報発信というのが、諏訪市の一番のウィークポイントだと長年感じていた。今回、この基本構想を見せていただいた時に、その情報発信のことがないように感じた。しごとの創出にしても投資を呼び込むにしても、福祉、教育という分野のことに関しても、情報が発信され、情報を受け取る人がいて、その人が実際に動き出すということになる。情報は大事だと思うが、どのように考えているのか。
- ・人口目標について。前の第五次総合計画後期基本計画には人口の推移、目標が書いてあるが、今回の計画については、人口目標を立てたりするのかを教えてください。

(茅野企画政策係主査)

- ・情報発信について、情報が必要な人に届いていないということはワークショップの中で浮き彫りになった課題。それについて、実現すべき重点目標にある、地域ブランド価値の向上に、特定の誰かが行うのではなくて、全ての人が発信していく。立場に関わらず発信していくという考えを入れている。
- ・人口目標に関しましては、計画に含む。大きな方針を変えず、今までのものを踏襲して計画に反映していく予定。方針が変わった場合、5年後に策定する次期計画に反映していくという考え。

(G委員)

- ・諏訪市のことだけを考えると、こういう方向性で発展していけばいいと思うが、この総合計画と諏訪圏広域の取組との関連をお聞きしたい。諏訪の国ブランドをやってきたが、3年目を境にして独自ブランドが残っているのは諏訪市だけになるという状況があった。諏

訪湖一つ見ても、サイクリングロード、スマートインター等々整備が進んでいるが、他の市町村とのつながりを考えないと諏訪市だけでは進められないのではと思っている。

(寺島企画政策課長)

- ・広域的な視点については、基本方針の33項目の一つに広域連携という項目を設け、諏訪圏域全体を見据えたものを入れていく考え。地域ブランド価値の向上、ここに諏訪の国も一つの事例として挙げている。諏訪市の情報発信について、シティプロモーションという観点では、秘書広報課という部署があるが、広報部局に限らず、どの部局においても積極的な情報発信、魅力発信をしていく必要がある旨の記載をした。それぞれの部局が自らのこととして発信をしていくことが、今後の大事なテーマになってくる。

(A委員)

- ・充実したしごとの創出について、どうしても生産性がある仕事だけに力を入れているように思える。これからは福祉、環境、教育といった分野ももっと前面に出して打ち出していくべきではないかと思うがいかがでしょうか。

(茅野企画政策係主査)

- ・現状では、主要産業というと工業や観光であるが、今後生まれる新たな仕事、多岐にわたる分野という表現を加えている。今までは稼げないと思われていた分野が稼げるようになる等、新たな価値が生まれている。工業や観光といった現状の主要産業に限ったものではない、先を見据えたしごと創出ということも念頭にある。

(E委員)

- ・商工会議所では産業別に部会を作っているが、最後にできた部会が医療介護部会。諏訪市で一番大きな事業所、雇用人数の大きい事業所は諏訪赤十字病院。福祉、医療について考えることを是非お願いしたい。

(H委員)

- ・基本方針については、次回詳しく内容をお示しくださるというお話があったが、実現すべき重点目標についても、中身を再度練り直していくということか。もう少しこういう言葉を入れたほうがよい等、提言してもいいものなのか。

(茅野企画政策係主査)

- ・この内容を基本に磨き上げていくということを考えているので意見をいただきたい。

(H委員)

- ・実現すべき重点目標の充実したしごと創出について。冒頭に、住民が安心して生活をするため、生計を立てるために重要な要素は仕事だとある。生活困窮者が増えてきているという話がある。生活困窮者に緊急で貸付けをしているが、その方々には少しでも働いて返してもらいたいという思いはある。でも本当に仕事がない。私は緊急就労支援の仕事をしているが、高齢者の方や生きづらさを感じている方は、なかなか就職に結びつかない。わずかに仕事が入ってきてもすぐ埋まってしまう。安心して生きていくためには、70歳を過ぎても仕事が必要な方もいる。難しいことができない方々もいるが、その方々の作業が我々の生活の下支えをしている。今の時代に合った仕事や雇用の捉え方も加えた方がいい。

(茅野企画政策係主査)

- ・しごと分野についても内容を見直していきたい。

(I 委員)

- ・市民への周知を徹底という話について。最近行政の説明にカタカナ、横文字が多い。アウトカムベース等言われても、どのくらいの方が言葉を理解しているのかと思うことがある。市民に周知を徹底するのであれば、せめて中学生から80～90歳代までわかるような言葉にしてもらいたい。そうでないと理解が難しいと思う。

(茅野企画政策係主査)

- ・ご指摘の通り。我々も計画を作るにあたって、なるべく難しい言葉や横文字を使わないように心がけていたところだが申し訳なく思う。
- ・誰にとっても、誰が読んでもわかるような表記、SDGs等の固有名詞に関しては注釈、なるべくわかりやすい言葉に言い換える等工夫していきたい。

(J 委員)

- ・前回の第五次諏訪市総合計画を見ながら話を聞いていたが、現状と課題が整理されて書かれていた。今の諏訪の現状と課題ということを踏まえないと意見を言いにくい部分がある。今の諏訪の現状と課題というものを提示いただくことができるのかお聞きしたい。

(茅野企画政策係主査)

- ・現状と課題という部分について、基本計画の個別分野の中に、現状、今後起こり得る課題を分析したものが含まれている。次回、会議前にお配りするものは、参考資料の第五次諏訪市総合計画後期基本計画のような冊子に近いものをお配りしようと考えている。

(岩波会頭)

- ・それではここで本日の協議を終了したい。本日のように何でも言える会にしていきたいと思っている。
- ・事務局に進行をお返しする。

7 その他

(前田部長)

- ・事務局から事務連絡をさせていただく

(茅野企画政策係主査)

※今後の日程等事務連絡

8 閉会

(前田部長)

- ・閉会のご挨拶を、副会長の小池様よろしくお願ひいたします。

(小池副会長)

- ・副会長の仕事は会長に何かあった場合の代理ですが、お元気でお過ごしいただいて、私は閉会の言葉だけをお伝えできるようにしたいと思いますのでよろしくお願ひします。
- ・本日の会議は活発な意見が出ました。ありがとうございました。閉会といたします。

(閉会 14時48分)